

第1章 総 説

1 沿 革	5
(1) 藩政時代までの政治の概要	
(2) 明治以降戦前（昭和20年）までの行政制度の概要	
(3) 行政分離から本土復帰時まで	
(4) 本土復帰から現在まで	
2 奄美群島の一般概況	8
1－1 位 置	9
1－2 主要二級河川	9
1－3 主 要 山 岳	9
1－4 島別・市町村別面積	10
1－5 極 位 置	10
3 島別の概要	11
(1) 奄 美 大 島	
(2) 加計呂麻島	
(3) 請 島	
(4) 与 路 島	
(5) 喜 界 島	
(6) 徳 之 島	
(7) 沖永良部島	
(8) 与 論 島	
4 そ の 他	14
1－6 奄美群島の行政機関	14
1－7 大島支庁行政機構図	18
1－8 奄美群島の歴代支庁長等	19
1－9 歴代選出代議士	20
1－10 奄美群島選出県議会議員	21
1－11 市町村長・市町村議会議長等	21
1－12 市町村長選挙結果（平成17年1月～平成19年12月執行）	22
1－13 地方公共団体の長及び議会議員の党派別人員調べ	22
1－14 一部事務組合の設置状況及び業務内容	23
1－15 奄美群島の市町村合併の概況	25
1－16 広域連合の設置状況及び業務内容	25
1－17 市町村大字名一覧	26

1 沿革

大島支庁総務企画課総括

(1) 藩政時代までの政治の概要

奄美史の時代区分は原始から8・9世紀ごろまでを「奄美世」と呼んでおり、この時代は、階級社会以前の共同体（マキヨ）の時代であった。つづいて按司という首長たちの支配割拠する階級社会に差し加かるが、これを「按司世」と称している。これに続く琉球王朝時代が「那覇世」であり、藩政時代を「大和世」と称している。

奄美大島は1440年前後、喜界島は1464年、徳之島以南はそれ以前に琉球王朝の支配下に入った。行政区画としては、大島7間切、喜界島5間切、徳之島3間切に編成され、各間切はさらに郡に分けられ、郡の下に村があった。いわゆる間切制度である。

1609年（慶長14年）、島津氏の征縄役の結果、奄美群島は琉球から分割されて薩摩藩に直属することになり、1613年（慶長18年）に代官を置き1871年（明治4年）の廃藩置県に至るまで、約260年間封建制度による厳しい自由の束縛に苦しんだ。この間、元禄以後は砂糖が非常に重要な意義をもち、ことに1745年（延享2年）の「換糖上納」（米で納める税を黒糖に換算して納めること。）決定以後はさとうきびが主作の地位につき、奄美の社会に重大な影響を与えた。

この時代は、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島に本仮屋（代官所）が置かれ、その下に各島の統治権が委ねられたが、地方行政区画は、おおむね琉球王朝時代の制度と変わらなかった。薩摩藩時代になると、元禄以後各間切は原則として二つの方に分けられ、その下が村というようになった。各間切役所は仮屋もと（首都）に置かれ、各方には方役所があった。

(2) 明治以降戦前（昭和20年）までの行政制度の概要

明治維新により明治4年7月14日、廃藩置県によって鹿児島県が設置されたが、奄美諸島は交通不便のため、しばらく藩制のまま持ち越された。その後明治7年の秋に、在藩所の代官以下の役人は事務を与人に託して引きあげた。

年 月 日	沿革
明治6年8月	県下に6支庁、第一支庁（加治木）・第二支庁（隈之城）・第三支庁（垂水）・第四支庁（知覧）・第五支庁（種子島）・第六支庁（大島）を置いた（このうち第六支庁（大島）の開設は実施に至らなかった。）。
明治8年6月12日	在藩所を廃止し、名瀬に大支庁を置き、喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島の各島にそれぞれ支庁を設置した。
明治11年12月	大島大支庁を大島支庁に改めた。
明治12年6月30日	大島支庁及び各島支庁を廃止し、奄美諸島は大島郡として大隅国に編入された。
明治12年7月1日	大島郡役所を今の奄美市名瀬金久に置き、また喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島の各島にそれぞれ同出張所を設置し、初代郡長として中村兼志が着任した。
明治18年10月20日	大島郡役所を廃止して金久支庁を置き、熊毛郡、駆謨郡（屋久島）及び川辺郡のうち宝島、悪石島、中之島、口之島、平島、臥蛇島、諏訪之瀬島、黒島、竹島、硫黄島の10島を管轄した。
明治18年12月8日	熊毛郡西之表村に金久支庁種子島出張所を置き、熊毛郡、駆謨郡及び黒島、竹島、硫黄島の3島を管轄することとなった。
明治19年11月13日	金久支庁を大島島庁に改めた。
明治22年3月31日	大島島庁種子島出張所を廃止した。
明治22年4月20日	町村制の実施により、熊毛・駆謨の2郡を管轄する熊毛郡役所が北種子村に設置され（同年5月24日開庁）、黒島、竹島、硫黄島は大島島庁の直轄となった。
明治30年4月	郡界変更及び郡の分合廃置のため、宝島ほか9島（前記）は川辺郡から分かれ、大島郡に合併された。
明治41年4月1日	島嶼町村制が実施され、従前の23方戸長役場区域を以て16村を編成した。 トカラ列島……十島村（1村） 喜 界 島……喜界村（1村） 奄 美 大 島……笠利村、龍郷村、名瀬村、住用村、大和村、焼内村、東方村、鎮西村（8村） 徳 之 島……亀津村、島尻村、天城村（3村） 沖永良部島……和泊村、知名村（2村） 与 論 島……与論村（1村）
大正5年5月20日	鎮西村から実久村が、焼内村から西方村がそれぞれ分立した（18村）。

年 月 日	沿 革
大正6月4月1日	天城村から東天城村が分立した（19村）。
大正6年11月1日	焼内村を宇検村に改称した。
大正8年4月1日	喜界村から早町村が分立した（20村）。
大正9年4月1日	島嶼町村制が廃止され、同時に町村制が実施された。同年5月25日、26日に村会議員選挙があり、数日後に村長選挙が行われた。
大正10年6月29日	島尻村を伊仙村に改称した。
大正11年10月1日	名瀬村の伊津部、金久は、併せて名瀬町になり、残りは三方村として独立した（1町20村）。
大正15年7月1日	郡制廃止に伴い、大島島庁を廃止して大島支庁・熊毛支庁を設置し、島司は支庁長に改められた。
昭和11年3月6日	東方村を古仁屋町に改称した（2町19村）。
昭和16年5月1日	和泊村を和泊町に改称した（3町18村）。
昭和16年9月13日	喜界村を喜界町に改称した（4町17村）。
昭和16年12月15日	亀津村を亀津町に改称した（5町16村）。
	5町……名瀬町、古仁屋町、和泊町、喜界町、亀津町
	16村……三方村、大和村、宇検村、西方村、実久村、鎮西村、住用村、龍郷村、笠利村、早町村、東天城村、天城村、伊仙村、知名村、与論村、十島村
昭和20年3月20日	大島支庁喜界島出張所・同徳之島出張所・同沖永良部島出張所を設置した。

(3) 行政分離から本土復帰時まで

昭和21年1月28日連合軍最高司令部の覚書により本土と行政分離され、同年2月2日に臨時北部南西諸島の名称が付されて以来、昭和28年12月25日本土復帰が実現し、鹿児島県大島支庁が再び設置されるまでの間の沿革は次のとおりである。

年 月 日	沿 革
昭和21年1月28日	連合軍最高司令部の覚書により、本土と分離された。
昭和21年2月2日	いわゆる2.2宣言により、北緯30度線より切り離され、昭和21年2月28日内務省告示第22号により十島村のうち竹島、黒島、硫黄島の3島は鹿児島県の管轄に編入され、他の諸島は沖縄に本部を置く米国軍政府下に統治され、臨時北部南西諸島の名称が付された。
昭和21年3月13日	北部南西諸島軍政府開設（初代軍政官、米国海軍少佐ポール・エフ・ライリ）
昭和21年3月16日	軍政府令、北部南西諸島命令第2号により、南西諸島米国海軍政府の統轄監督下に置かれ、大島郡の全政治権能及び活動は大島支庁の行政権内におかれた。
昭和21年6～9月	市町村制が施行され、7月1日に名瀬町は名瀬市となり（1市4町16村）、同年9月1日に知名村は知名町となった（1市5町15村）。
昭和21年7月1日	米国陸軍軍政府の統轄監督下に置かれた（米国軍政府臨時布告第1号）。
昭和21年10月3日	大島支庁は臨時北部南西諸島政庁と改称され、同時に支庁長は臨時北部南西諸島知事、次長は副知事と改称された。
昭和22年5月17日	司法権の独立
昭和25年10月22日	奄美群島知事公選（琉球列島米国軍政本部特別布告第37号）
昭和25年11月25日	臨時北部南西諸島の名称を奄美群島と改称、同時に奄美群島政府設立（琉球列島米国軍政府令第22号群島組織法）
昭和27年3月31日	群島政府のすべての機能廃止（琉球列島米国軍政府令第69号）
昭和27年4月1日	琉球政府創立（琉球列島米国民政府令第13号）
昭和27年4月28日	日米平和条約第5号第2章第3条により、北緯29度以北にある十島村の下7島も鹿児島県の行政管轄下に編入され、行政区画上の名称のみ大島郡として存続（1市5町14村）
昭和27年9月22日	奄美地方庁設置（立法第36号地方庁設置法）

(4) 本土復帰から現在まで

昭和28年12月25日、「奄美群島に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定」（条約第33号）により奄美群島が本土に復帰し、日本国が奄美群島住民に対する行政、立法及び司法上のすべての権力を行使するための完全な機能及び責任を引き受けて以来、現在に至るまでの間の沿革は次のとおりである。

年 月 日	沿 革
昭和28年11月16日	奄美群島の復帰に伴う法令の適用の暫定措置法等に関する法律公布（昭和28年法律第267号）
昭和28年12月25日	奄美群島は日本に返還され、再び鹿児島県大島支庁が設置された。
昭和29年6月21日	奄美群島復興特別措置法制定（昭和29年法律第189号）
昭和30年2月1日	町村合併促進法（昭和28年法律第258号）により、名瀬市は三方村を編入合併した（1市5町13村）。
昭和30年8月13日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和30年法律第163号）により、奄美群島復興信用保証協会設置（同年9月業務開始）
昭和31年9月1日	町村合併促進法により西方村、実久村、鎮西村、古仁屋町は合併し、瀬戸内町となった（1市5町10村）。
昭和31年9月10日	町村合併促進法により、喜界町と早町村は合併し、喜界町となった（1市5町9村）。
昭和33年4月1日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和33年法律第46号）により、計画期間が10か年に延長された。
昭和33年4月1日	町村合併促進法により、亀津町と東天城村は合併し、徳之島町となった（1市5町8村）。
昭和34年3月20日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和34年法律第23号）により、奄美群島復興信用保証協会は奄美群島復興基金と改組された。
昭和36年1月1日	笠利村、天城村は町制を施行し、笠利町、天城町となった（1市7町6村）。
昭和37年1月1日	伊仙村は町制を施行し、伊仙町となった（1市8町5村）。
昭和38年1月1日	与論村は町制を施行し、与論町となった（1市9町4村）。
昭和39年3月31日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和39年法律第43号）により、名称が奄美群島復興特別措置法となり、奄美群島復興信用基金は奄美群島復興信用基金と改組された。
昭和44年3月28日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和44年法律第5号）により、計画期間が10か年に延長された。
昭和49年3月29日	奄美群島復興特別措置法の一部を改正する法律（昭和49年法律第9号）により、名称が奄美群島復興開発特別措置法となり、奄美群島復興信用基金は奄美群島復興開発基金と改組された。
昭和50年2月10日	龍郷村は町制を施行し、龍郷町となった（1市10町3村）。
昭和54年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（昭和54年法律第13号）により、法律の有効期限が5か年延長された。／昭和58年度末日まで
昭和54年6月13日	奄美群島復興開発計画（改定10箇年計画／昭和49～58年度）策定
昭和59年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（昭和59年法律第10号）により、法律の有効期限が5か年延長された。／昭和63年度末日まで
昭和59年6月13日	新奄美群島復興開発計画（昭和59～63年度）策定
平成元年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（平成元年法律第10号）により、法律の有効期限が5か年延長された。／平成5年度末日まで
平成元年6月28日	新奄美群島復興開発計画（改定10箇年計画／昭和59年～平成5年度）策定
平成6年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（平成6年法律第20号）により、法律の有効期限が5か年延長された。／平成10年度末まで
平成6年6月24日	第3次奄美群島復興開発計画（平成6年～10年度）策定
平成11年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（平成11年法律第13号）により、法律の有効期限が5か年延長された。／平成15年度末まで
平成11年6月15日	第3次奄美群島復興開発計画（改定10箇年計画／平成6年～15年度）策定
平成16年3月31日	奄美群島復興開発特別措置法の一部を改正する法律（平成16年法律第11号）により、法律の有効期限が5か年延長された。
平成16年8月16日	奄美群島復興開発計画（平成16年～20年度）策定
平成18年3月20日	市町村合併特例法により名瀬市と住用村、笠利町は合併し、奄美市となった（1市9町2村）。
平成19年4月1日	総合事務所設置計画に基づく大島支庁の設置（4部制、4事務所）

2 奄美群島の一般概況

大島支庁総務企画課総括

奄美群島は、北方は北緯28度32分44秒、南方は北緯27度01分07秒、東方は東経130度02分08秒及び西方は東経128度23分43秒の海域に飛石状に連なった島嶼からなる。

有人島には奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島及び与論島の8島がある。

我が国の離島の中でも、特に本土から遠隔の地に位置し、鹿児島市から航路距離にして群島東北端の喜界島まで377km、最南端の与論島まで592kmに及んでいる。

総面積は1,231.33km²となっており、群島のうち最も大きい奄美大島は712.43km²で、離島関係特別法が適用される我が国の離島^(注)のうち佐渡島に次ぐ第2位の広さを有している。

総人口は一時226,752人（昭24.12.31）を数えたが、その後の著しい人口流出に伴い総人口は126,483人（平成17年国調）となっている。

市町村数は、復帰時（昭28.12.25）1市5町14村であったが、その後の市町村合併等の変遷を経て、現在1市9町2村となっている。

地形上からみると、本群島は二分され、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、徳之島北東部は主として古成層とこれを貫く火成岩からなる急峻な山陵性の地形で、海岸線は変化に富み、河川はいずれも短小急流である。喜界島、沖永良部島、与論島は琉球石灰岩、いわゆるサンゴ礁が広く発達し、低平な段丘状の地形で砂浜、鍾乳洞等観光的資源には恵まれている反面、河川は少なく、雨水は大部分地下に浸透している。徳之島南西部も前3島と同じく琉球石灰岩で形成されている。

気候は、亜熱帯・海洋性に属し、年間平均気温は21℃前後、降水量は約3,000mmと四季を通じて温暖多雨である。また、台風の常襲地帯としても知られている。

郡民は、敗戦とそれに引き続く8年間の行政分離により耐乏生活を余儀無くされたが、本土復帰後の特別措置法に基づく復興、振興及び振興開発事業の実施により、交通基盤や産業基盤、生活環境などの社会資本の整備が進むとともに、生活水準も着実に向上するなど大きな成果を上げてきた。しかしながら、本土との地理的条件、台風常襲地帯であるなどの厳しい自然条件下にあって、自立的発展の基礎条件は必ずしも確立されたとは言い難い状況にある。

また、郡民所得についても、依然として国及び県との間に格差がある。

（注）離島振興法、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特別措置法及び沖縄振興特別措置法が適用される有人の離島である。

1-1 位 置

期日：平成20年4月1日
資料：面積 国土地理院
周囲 県河川課
距離 九州運輸局鹿児島運輸支局

島 嶼 名	所 属 市 町 村 名	位 置			周 围 (km)	面 積 (km ²)	鹿児島市までの 距離 (km) (航路距離)
		測点地名	東 経	北 緯			
奄 美 大 島	奄美市						
	大和村・宇検村・瀬戸内町	名 瀬	129° 29' 38"	28° 22' 38"	461.1	712.43	383
	龍郷町						
加計呂麻島	瀬戸内町	諸 鈍	129 19 31	28 05 43	147.5	77.39	460
請 島	瀬戸内町	池 地	129 14 01	28 01 51	24.8	13.34	478
与 路 島	瀬戸内町	与 路	129 09 51	28 02 39	18.4	9.35	487
喜 界 島	喜界町	湾	129 56 08	28 19 04	50.0	56.93	377
徳 之 島	徳之島町・天城町・伊仙町	亀 津	129 00 52	27 43 33	89.1	247.77	492
沖永良部島	和泊町・知名町	和 泊	128 39 15	27 23 44	55.8	93.65	546
与 論 島	与論町	茶 花	128 25 08	27 02 57	23.7	20.47	592

(注) 周囲：奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島以外の属島を含む。

面積：奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島以外の属島を含まない。

1-2 主要二級河川

資料：大島支庁建設課
大島支庁各事務所

順位	名 称	指定延長(km)	貫流市町村
1	大 川	8.7	奄美市
2	住 用 川	7.7	奄美市・大和村
3	役 勝 川	6.1	奄美市・瀬戸内町
4	大 美 川	5.5	龍郷町
5	万 田 川	5.5	徳之島町
6	秋 利 神 川	5.1	天城町
7	ウワナル川	4.8	伊仙町
8	面 縄 川	4.7	伊仙町
9	余 多 川	4.1	知名町
10	河 内 川	3.6	奄美市・宇検村

1-3 主 要 山 岳

資料：国土地理院

順位	名 称	標高(m)	所在市町村
1	湯 湾 岳	694	宇検村・大和村境
2	井 之 川 岳	645	徳之島町・天城町境
3	天 城 岳	533	徳之島町・天城町境 (山頂は徳之島町)
4	小 川 岳	528	大和村
5	金 川 岳	528 (標高点)	奄美市
6	三 方 通 岳	496	徳之島町・天城町境
7	タ カ バ チ 山	485	奄美市
8	油 井 岳	483	瀬戸内町
9	滝 ノ 鼻 山	482 (標高点)	奄美市
10	鳥 ケ 峰	467	奄美市・瀬戸内町
11	松 長 山	455	奄美市

(注) 表12-12の再掲である。

1－4 島別・市町村別面積

単位：ha

市町村別 区 別	総 面 積 (km ²)	耕 地 面 積			林 野 面 積		
		田	畑	計	国 有 林	民 有 林	計
奄 美 群 島	1,231.29	70	16,800	16,800	7,894	74,560	82,454
（奄 美 大 島）	812.51	59	2,124	2,185	4,133	65,254	69,389
奄 美 市	★306.20	18	1,330	1,350	2,229	22,358	24,587
大 和 村	★ 90.04	2	120	122	22	7,882	7,905
宇 検 村	103.07	0	126	126	876	8,540	9,416
瀬 戸 内 町	239.90	7	331	338	1,006	19,764	20,771
龍 郷 町	82.08	32	217	249	－	6,710	6,710
（喜 界 島）	56.93	0	2,180	2,180	－	1,063	1,063
喜 界 町	56.94	0	2,180	2,180	－	1,063	1,063
（徳 之 島）	247.77	4	6,880	6,880	3,760	7,200	10,961
徳 之 島 町	104.87	3	2,330	2,330	1,495	4,095	5,590
天 城 町	80.35	1	2,120	2,120	1,750	1,821	3,571
伊 仙 町	62.70	－	2,430	2,430	515	1,284	1,800
（沖 永 良 部 島）	93.65	3	4,510	4,520	－	959	959
和 泊 町	40.37	0	2,400	2,400	－	242	242
知 名 町	53.29	3	2,110	2,120	－	717	717
（与 論 島）	20.47	4	1,060	1,060	－	82	82
与 論 町	20.49	4	1,060	1,060	－	82	82

（注）1 総面積は国土地理院調べ（20. 4. 1 現在，★は参考値：境界未定のため平成19年度版全国市町村要覧（総務省発行）に記載されている便宜上の概算数値で，面積異動があった一部市町村は参考値を調整している。）

境界未定市町村の面積の内訳は，奄美市・大和村396.24である。

- 2 耕地面積は市町村別データⅠ（平成19年7月15日現在）。統計の手法上，合計数値は一致しないことがある。
- 3 林野面積は平成19年度県林業統計
- 4 奄美大島の瀬戸内町には加計呂麻島，請島，与路島を含む。
- 5 島の面積と，町の計が一致しないのは，町には離れ小島の面積が含まれているためである。
- 6 奄美群島の総面積は，それぞれの島の面積の合計である。

1－5 極 位 置

方 位	地 名	経 緯 度	方 位	地 名	経 緯 度
極 東	喜 界 町 志 戸 桶 岬	東 経 130° 02' 08" 北 緯 28° 21' 44"	極 南	与 論 町 チ チ 崎 南 崎	東 経 128° 26' 37" 北 緯 27° 01' 07"
極 西	与 論 町 フ ン チ ュ 崎 北 方 （兼母海岸）	東 経 128° 23' 43" 北 緯 27° 02' 51"	極 北	奄 美 市 笠 利 町 笠 利 崎 （沖パントラ岩）	東 経 129° 43' 19" 北 緯 28° 32' 44"

3 島 別 の 概 要

人 口：平成17年国勢調査及び住民基本台帳人口
耕地面積：市町村別データⅠ（平成19年7月15日）
林野面積：平成19年度県林業統計

(1) 奄 美 大 島

奄美大島は奄美群島中最大の島で、加計呂麻島、請島、与路島を合わせた面積は812.51km²で全群島面積の66.0%、人口は70,462人で群島総人口の55.8%を占める扇形の島で、現在奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町の1市2町2村からなっている。

群島の首都的性格を有する奄美市名瀬は、奄美大島の西北部に位置し、航路距離で鹿児島港から383km、那覇港から350kmの地点にあり、名実共に群島の政治、経済、交通の中心地である。ここには県大島支庁をはじめ、国、県の各出先機関が集結しており、また貨物の集散地として本地域を中心に商業、運輸業、製造業、建設業等が盛んに行われている。

この島は、四万十帯に属する堆積岩類（砂岩、頁岩）がほぼ全域にわたって広く分布し、全島の85.5%、69,389haは森林及び原野に覆われ、耕地面積はわずかに2,185haで全面積の2.7%にすぎない。

山岳中の最高峰は湯湾岳（694m）で、島の中央からやや西側にそびえ立っており、油井岳、松長山、鳥ヶ峰岳等の400m以上の山岳とともに本島の脊柱部を構成している。

河川は、東海岸の住用湾に注いでいる住用川（約17km）及び役勝川（約15km）のほか、河内川、川内川、大川などがあるが、そのほとんどは流路延長の短い急流河川である。

海岸線は、概して良湾良港に恵まれている。なかでも名瀬港は群島唯一の重要港湾で、貨客船の出入が頻繁であり、30,000トン級の岸壁1バースが平成16年4月供用され10,000トン級の岸壁2バースが整備されているほか、クルージング需要に対応するための整備が進められるとともに、港湾機能の充実を図るため佐大熊地区の貨物船バースや小型船対策及び沖防波堤の整備が進められている。また、古仁屋漁港は5,000トン級の船舶が接岸可能である。

道路は、本島道路網の骨格である国道58号をはじめ主要地方道名瀬瀬戸内線他3路線、一般県道佐仁万屋赤木名線他9路線を着実に整備している。

空港は、奄美市笠利町に奄美空港（第3種空港）が昭和63年7月10日開港（旧空港：昭和39年6月1日開港）し、鹿児島ー奄美、東京ー奄美、大阪ー奄美間をジェット機で結んでいるほか、那覇ー奄美間にDHC-8型機が、群島内の各空港との間にはサード機が就航している。

産業としては、さとうきび、野菜、果樹を主体とした農業と黒糖焼酎、大島紬が主なものであり、特産物としては大島紬、たんかん、パッションフルーツ、黒糖焼酎等がある。また、瀬戸内町、宇検村では、真珠、クロマグロ等の魚類の養殖が行われている。なお、本島北部地域には県営かんがい排水事業笠利東部地区により須野ダムが完成し、末端畑地かんがい施設も一部を残し整備が完了しており、畑かん営農による農業振興が図られつつある。

地下資源は、マンガン、銅、金、銀、石灰石等があるが、企業化はされていない。

自然は、猛毒で知られているハブや、天然記念物として保護されているアマミノクロウサギ、オオトラツグミ、ルリカケス（昭和40年5月鹿児島県島に指定）、オカヤドカリ、アカヒゲなどの他、絶滅危惧種のリュウキュウアユ、アマミヤマシギや奄美大島の固有種であるアマミセイシカ、ウケユリなど、貴重な動植物が多く生息している。

(2) 加 計 呂 麻 島

奄美大島と大島海峡を隔てて位置する加計呂麻島は、周囲147.5km、面積77.39km²、人口1,606人で、喜界島と与論島を併せた面積に匹敵し、リアス式海岸の変化に富んだ風景や自然が残されている。

昭和31年9月に実久村、鎮西村の2村が古仁屋町・西方村と合併し瀬戸内町となった。

交通は、古仁屋～瀬相間、古仁屋～生間間を2点航路で町営船（フェリー）が1日7往復就航しているほか、海上タクシーと呼ばれる貸切船も運行している。島内の陸上交通は、定期船の運航時間帯に合わせて瀬相～生間を拠点としてバスが運行している。

産業としては、農業が中心で、さとうきびを基幹作物に、野菜や畜産との複合経営が行われているほか、ソテツの実を特産品として出荷している。水産業では、大島海峡の静穏な海域を利用して真珠の養殖などが行われている。

(3) 請 島

加計呂麻島の南方に位置し、周囲24.8km、面積13.34km²、人口176人の小島で、鎮西村の一部であったが、昭和31年9月町村合併により瀬戸内町となった。交通は、古仁屋から海路25kmで、町営定期船が1日1往復しているが、加計呂麻島經由の中渡しも利用されている。

産業としては、肉用牛と養豚の畜産業が主体である。またソテツの実・苗を特産品として出荷している。

(4) 与 路 島

加計呂麻島の南方に続く請島の西方4kmに位置し、周囲18.4km、面積9.35km²、人口148人の小島で、請島と同じく昭和31年9月町村合併により瀬戸内町となった。交通は、古仁屋から海路35kmで、町営定期船が請島經由で1日1往復している。加計呂麻島經由の中渡しも利用できる。

産業としては、肉用牛の生産が盛んで、またソテツの実・苗を特産品として出荷している。

(5) 喜 界 島

奄美大島の東側に位置するほぼ卵形の島で、名瀬港から同島の湾港まで航路距離で69kmの地点にある。周囲50.0km、面積56.93km²、人口8,572人を有する島で昭和31年9月10日喜界町と早町村が合併して島単位の喜界町を実現した。

比較的平坦地が多く、泥質岩を主とする新生代の島尻層が広く分布し、耕地面積は2,180haで島の面積の38.3%を占めている。山岳、河川にはほとんど見るべきものはない。喜界島は、平均年2mm程度ずつ隆起しており、地震も多い。

道路は、循環道路があって陸上交通は便利であるが、海岸線の変化に乏しいため天然の港には恵まれていない。しかし、湾港、早町漁港の改修が進み、両港とも、5,000トン級船舶の接岸が可能となっている。湾港では港内の静穏度^{せいおんど}を高めるための防波堤整備が進められている。また、空港は喜界町中里に喜界空港（第3種空港）が昭和43年5月1日開港し、鹿児島空港及び奄美空港との間にサード機が就航している。

耕地に恵まれているため農業が盛んで、さとうきびを中心に花き、野菜、畜産（肉用牛）との複合経営が営まれている。また、平成15年度には国営かんがい排水事業喜界地区（地下ダム）が完成し、畑かん営農の振興と地域経済の浮揚が期待されている。

水産業は5トン未満の漁船が主であるが、瀬物一本釣漁業、曳縄漁業が盛んで、クルマエビ養殖も営まれている。また、地下資源として石灰石がある。

(6) 徳 之 島

奄美大島の南西に位置し、名瀬港から同島の主要港である亀徳新港まで航路距離で109km、周囲89.1km、面積247.77km²の島で、耕地面積が全面積の27.8%（6,880ha）、林野面積が44.2%（10,961ha）を占めている。

人口は27,167人で、徳之島町、天城町及び伊仙町の3町で一島を形成している。

奄美大島に次ぐ大きな島で、中・古生層や一部火成岩類よりなる基盤岩類がほぼ全域にわたって広く分布し、山岳としては井之川岳（645m）を主峰とする山脈が島の中央を走り、島を東西に両断している。

河川の主なものに、秋利神川（約13km）があり、西海岸に注いでいる。

海岸線は単調であるが、沿岸にはリーフが発達している。港湾は亀徳新港が東海岸に、また、平土野港が西海岸にあり、両港とも5,000トン級船舶の接岸が可能となっている。亀徳新港では、将来の船舶の大型化に備え、10,000トン級船舶が接岸可能な施設の整備が、平土野港では防波堤岸の整備がそれぞれ進められている。

道路は、主要地方道伊仙天城線の鹿浦バイパス（伊仙町）が平成16年3月に開通したことから循環道路については一部の地区（犬田布、伊仙、面縄、亀徳、母間等）を除いてほぼ整備された。

また、二つの横断幹線道路（糸木名亀津線、伊仙亀津徳之島空港線）も概ね整備を終えようとしている。また、空港は天城町浅間に徳之島空港（第3種空港）が昭和37年2月23日開港し、鹿児島ヘジェット機が、奄美ヘサード機が就航している。

総面積は奄美大島の3分の1に過ぎないが、耕地面積は群島中最大で、さとうきびを主体に野菜、畜産（肉用牛）との複合経営の農業が営まれている。さとうきびの生産額は群島総生産額の48.8%を占め、また畜産も群島の44.0%を占めている。一方、農家の規模拡大と農業の近代化のため実施されていた3町にまたがる国営農地開発事業徳之島地区が平成12年度に完了した。また、畑かん受益が島全体にわたる国営かんがい排水事業徳之島用水地区は平成9年度から実施されており、早期通水による畑かん営農の推進が期待されている。林業は需要を充足するまでに至らず、住民のほとんどが農業に従事してい

る。水産業は5トン未満の漁船が主であるが、浮魚礁を利用したマグロ漁、瀬物一本釣漁業が営まれている。地下資源には、採掘が行われている石灰石のほか、銅がある。

(7) 沖 永 良 部 島

徳之島の南西に位置し、名瀬港から徳之島の亀徳港經由同島の和泊港まで航路距離で163kmの地点にある。周囲55.8km、面積93.65km²、人口は14,551人で、和泊及び知名の両町で一島を形成している。

全島石灰岩や石灰砂よりなる新生代の琉球層群に覆われ、東西に細長く喜界島と類似したほぼ芋型の島で、最高標高は、島の西部中央の大山(240m)で、その他は、山岳、河川というようなものない。比較的平坦地が多いので農地に恵まれている(島面積の48.3%、4,520ha)。

海岸線は変化に乏しく、しかも港の沖合はサンゴ礁にさえぎられているが、和泊港、知名漁港ともに8,000トン級の船舶が接岸可能である。和泊港では将来の船舶の大型化に備え岸壁及び防波堤の整備が進められており、また知名漁港では港内の静穏度を高めるための防波堤の整備が進められている。また、和泊港の補完港としての伊延港(接岸能力5,000トン)が整備されている。

道路は島を循環する道路を始め、横断する道路も整備され、バスが運行されている。

空港は沖永良部空港(第3種空港)が和泊町国頭に昭和44年5月1日に開港し、鹿児島へDHC-8型機とサーブ機が、また奄美及び与論へはサーブ機が就航している。

産業としては農業が盛んで、切花生産を中心とした花の島で知られており、歴史あるユリの球根の生産額を含めた花きの生産額は群島全体の91.2%を占め、沖永良部島の農業生産額の40.1%を占めている。また、野菜の生産も盛んで、特にばれいしょについては、平成7年6月に県下で9番目の「かごしまブランド」の指定を受けた。その他畜産(肉用牛)も盛んである。水源に乏しいため、安定した農業経営が図られるよう平成19年度に国営かんがい排水事業沖永良部地区(地下ダム)が着工となり、さらなる農業振興が図られると期待されている。水産業は5トン未満の漁船による一本釣が主体であるが、近年浮魚礁を利用したマグロ漁やソデイカ漁が盛んである。

地下資源としては、トラバーチン、石灰石があるが、いずれも本格的には採掘されていない。

(8) 与 論 島

沖永良部島の南西に位置し、名瀬港から同島の茶花港まで航路距離で209kmの地点に位置する本群島最南端の島であり、沖縄本島を間近に眺望できる。

周囲23.7km、面積20.47km²の円形の小島で、昭和38年1月1日町制を施行して一島一町となり、人口は5,731人を数える。沖永良部島と同様、農地に恵まれており、島面積の51.8%、1,060haを占めている。地理的状況も沖永良部島と類似し、琉球石灰岩からなり低平な段丘状の地形である。山岳、河川はほとんどなく、河床はあっても、豪雨の際のほかは流水をみない。

水道水源はすべて地下水に頼っている。平成13年5月海水淡水化プラントの完成に伴い、良質な水の供給と海水(かん水)からの飲料水の造水が可能となった。

海岸線は変化に乏しいが、与論港は、昭和54年7月には供利地区に、平成元年7月には茶花地区に8,000トン級の船舶が接岸可能となった。

道路は循環線が整備され、バスが運行されている。また、空港は、与論空港(第3種空港)が与論町立長に昭和51年5月1日に開港し、鹿児島へはDHC-8型機が、沖永良部へはサーブ機が就航している。さらに昭和53年8月からは那覇への航空路も開設され、DHC-8型機が就航している。

農業は、さとうきびを主体に畜産(肉用牛)が盛んに行われているほか、石川さといも、いんげんの早出栽培や花きの産地化が図られつつある。平成17年10月には、県営中山間地域総合整備事業により堆肥センターが整備され、環境保全や資源循環型の農業が推進されている。また、県営畑地帯総合整備事業や基盤整備促進事業により、ため池・地下水を利用した農業用水の確保に努めており、安定した農業経営が期待されている。

観光は、海洋性の一大レクリエーション基地としてその名を全国に知られている。平成19年3月には、与論港茶花地区に与論港コースタルリゾート整備事業が完成し、海浜埋め立てにより、マリナーや人口ビーチ、緑地・広場等が整備された。

水産業は、3トン未満の小型漁船による沿岸一本釣が主であるが、近年浮魚礁を利用したマグロ漁やソデイカ漁が盛んで、漁船の大型化が進んでいる。

地下資源は、トラバーチン、石灰石があるが採掘されていない。

4 そ の 他

1-6 奄美群島の行政機関

(ア) 県

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成21年1月

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
大島支庁	894-8501	奄美市名瀬永田町17-3	0997-53-1111
農政普及課特殊病害虫係	894-0061	奄美市名瀬朝日町30-1	0997-52-0299
〃 瀬戸内町駐在	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津36	0997-72-0184
〃 喜界町駐在	891-6201	喜界町赤連2901-14	0997-65-3019
林務水産課瀬戸内町駐在	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津36	0997-72-0185
徳之島町駐在	891-7101	徳之島町亀津7216	0997-83-1354
大島消費生活相談所	894-8505	奄美市名瀬永田町17-3	0997-52-0999
瀬戸内事務所	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津36	0997-72-2111
喜界事務所	891-6201	喜界町赤連2901-14	0997-65-2091
徳之島事務所	891-7101	徳之島町亀津7216	0997-82-1333
沖永良部事務所	891-9111	和泊町手々知名134-1	0997-92-1632
〃 与論町駐在	891-9301	与論町茶花1420-2	0997-97-2274
名瀬保健所（大島支庁保健福祉環境部）	894-0032	奄美市名瀬柳町2-1	0997-52-5411
〃 瀬戸内町駐在	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津36	0997-72-1176
〃 喜界町駐在	891-6201	喜界町赤連2901-14	0997-65-3018
徳之島保健所（徳之島事務所保健衛生環境課）	891-7101	徳之島町亀津4943-2	0997-82-0149
〃 和泊町駐在	891-9111	和泊町手々知名134-1	0997-92-4313
大島知的障害者更生相談所	894-0012	奄美市名瀬小俣町20-2	0997-53-6070
大島児童相談所	894-0012	奄美市名瀬小俣町20-2	0997-53-6070
県立大島病院	894-0015	奄美市名瀬真名津町18-1	0997-52-3611
大島紬技術指導センター	894-0068	奄美市名瀬浦上町48-1	0997-52-0068
農業開発総合センター大島支場	894-0068	奄美市名瀬浦上町7-1	0997-52-3545
〃 徳之島支場	891-8114	伊仙町面縄2092	0997-86-2004
鹿児島中央家畜保健衛生所大島支所	894-0512	奄美市笠利町中金久77	0997-63-0045
〃 〃 瀬戸内町駐在	894-1507	瀬戸内町古仁屋1111-3	0997-72-0246
〃 〃 喜界町駐在	891-6202	喜界町湾160-1	0997-65-0046
〃 〃 徳之島支所	891-7101	徳之島町亀津913	0997-83-0074
〃 〃 和泊町駐在	891-9112	和泊町和泊500-4	0997-92-0043
〃 〃 与論町駐在	891-9301	与論町茶花1420-2	0997-97-2033
森林技術総合センター龍郷町駐在	894-0105	龍郷町大勝1032	0997-62-2007
大島教育事務所	894-8507	奄美市名瀬永田町17-3	0997-53-1111
県立図書館奄美分館	894-0012	奄美市名瀬小俣町20-1	0997-52-0244
県立奄美少年自然の家	894-0043	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2	0997-53-1032
奄美警察署	894-0036	奄美市名瀬長浜町5-2	0997-53-0110
〃 喜界幹部派出所	891-6202	喜界町大字湾46	0997-65-4309
瀬戸内警察署	894-1507	瀬戸内町古仁屋1283-155	0997-72-0110
徳之島警察署	891-7101	徳之島町亀津4946-1	0997-83-0110
沖永良部警察署	891-9112	和泊町大字和泊120	0997-92-0110
〃 与論幹部派出所	891-9301	与論町大字茶花2092-1	0997-97-2803

(イ) 国

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
(法務省関係)			
鹿児島地方検察庁名瀬支部	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-2	0997-52-0245
名瀬区検察庁	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-2	0997-52-0245
徳之島区検察庁	891-7101	徳之島町亀津553-1	0997-83-0131
鹿児島地方法務局奄美支局	894-0026	奄美市名瀬港町2-16	0997-52-0376
〃 喜界出張所	891-6201	喜界町赤連2695	0997-65-4308
〃 徳之島出張所	891-7101	徳之島町亀津553-1	0997-82-0206
〃 沖永良部出張所	891-9112	和泊町和泊12-2	0997-92-0136
〃 与論出張所	891-9301	与論町茶花2323-1	0997-97-2028
鹿児島保護観察所奄美駐在官事務所	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-2	0997-52-0944
鹿児島刑務所大島拘置支所	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町21-1	0997-52-0198
代用少年鑑別所大島拘置支所	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町21-1	0997-52-0198
代用少年院大島拘置支所	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町21-1	0997-52-0198
福岡入国管理局鹿児島出張所名瀬審査室	894-0034	奄美市名瀬入舟町22-1	099-222-5658
(財務省関係)			
九州財務局鹿児島財務事務所名瀬出張所	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-0728
長崎税関鹿児島税関支署名瀬監視署	894-0034	奄美市名瀬入舟町22-1	0997-53-3271
大島税務署	894-8677	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-4321
(文部科学省関係)			
東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設	894-1531	瀬戸内町手安須手802	0997-72-0373
(厚生労働省関係)			
奄美大島社会保険事務所	894-0035	奄美市名瀬塩浜町3-1	0997-52-4341
国立療養所奄美和光園	894-0007	奄美市名瀬和光町1700	0997-52-6311
名瀬労働基準監督署	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-0574
名瀬公共職業安定所	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-4611
〃 徳之島分室	891-7101	徳之島町亀津553-1	0997-82-1438
(農林水産省関係)			
九州農政局鹿児島農政事務所奄美統計・情報センター	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-0274
門司植物防疫所名瀬支所	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-1	0997-52-0459
鹿児島森林管理署名瀬森林事務所	894-0015	奄美市名瀬真名津町1-17	0997-52-4531
〃 宇検森林事務所	894-3301	宇検村湯湾1005-2	0997-67-2013
〃 徳之島森林事務所	891-7101	徳之島町亀津7111-2	0997-82-0027
〃 天城森林事務所	891-7612	天城町平土野43-3	0997-85-2036
九州農政局徳之島用水農業水利事業所	891-7611	天城町天城1511-1	0997-85-5221
〃 沖永良部農業水利事業所	891-9214	知名町知名85	0997-93-1850

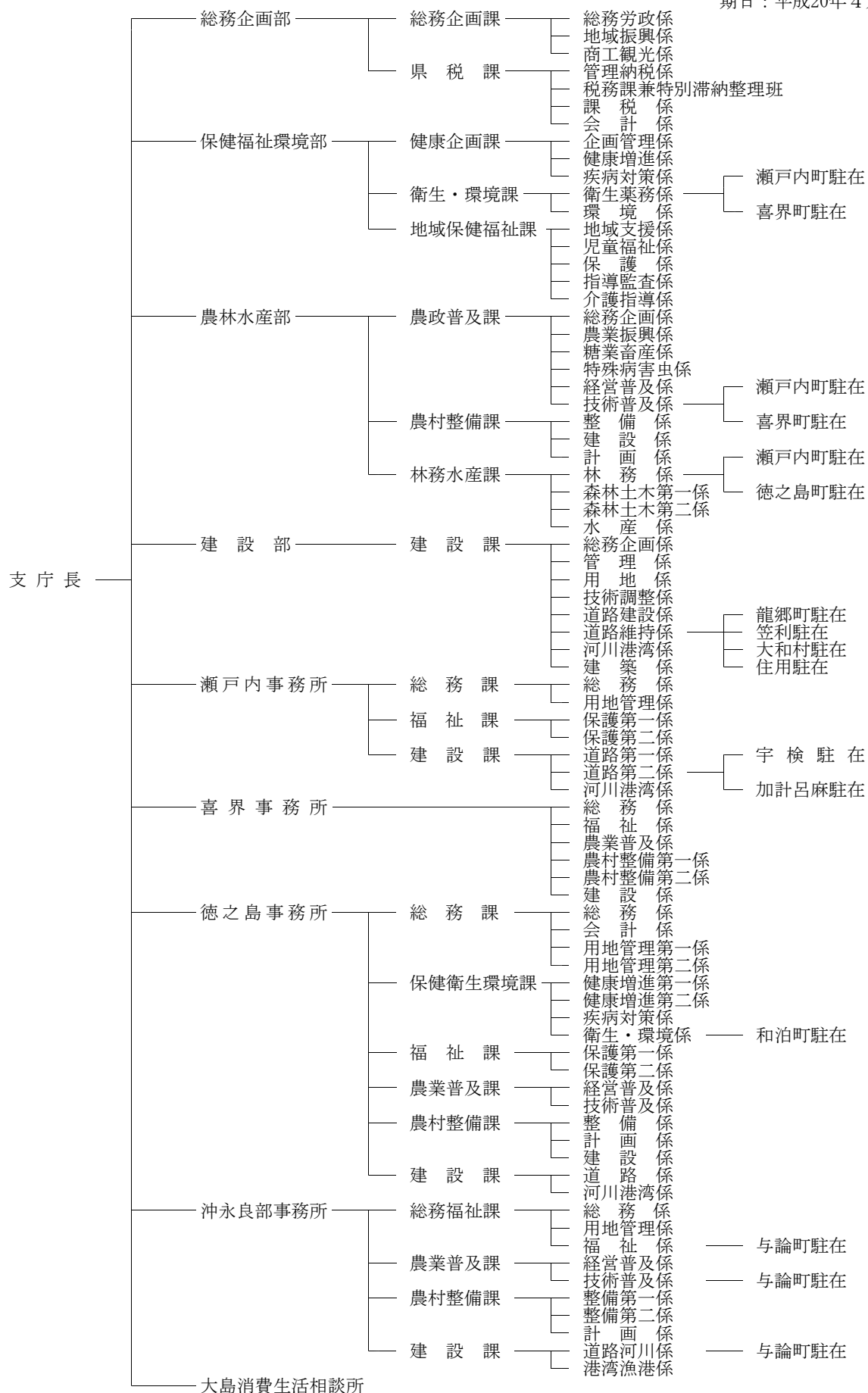
名 称	郵便番号	所 在 地	電話番号
(国土交通省関係)			
名瀬測候所	894-0026	奄美市名瀬港町8-1	0997-52-0204
〃 高層観測室（本茶峠分室）	894-0108	奄美市名瀬大字浦上字小又1023-1	0997-52-0204
福岡航空測候所奄美空港出張所	894-0503	奄美市笠利町大字和野字長浜金久374-4	0997-63-0244
九州運輸局鹿児島運輸支局大島自動車検査登録事務所	894-0007	奄美市名瀬和光町12-1	0997-52-0757
奄美海上保安部	894-0034	奄美市名瀬入舟町22-1	0997-52-5811
古仁屋海上保安署	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津35-1	0997-72-2999
大阪航空局奄美空港出張所	894-0503	奄美市笠利町和野374-4	0997-63-0067
〃 名瀬航空路監視レーダー事務所	894-0044	奄美市名瀬浜里町35	0997-53-6523
九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所名瀬事務所	894-0036	奄美市名瀬長浜町1-3	0997-53-4026
独立行政法人奄美群島振興開発基金			
本部	894-0026	奄美市名瀬港町1-5	0997-52-4511
徳之島事務所	891-7101	徳之島町亀津2928-4	0997-82-0309
沖永良部事務所	891-9112	和泊町和泊1225	0997-92-1314
(裁判所関係)			
鹿児島地方裁判所名瀬支部	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-1	0997-52-5141
鹿児島家庭裁判所名瀬支部	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-1	0997-52-5141
名瀬簡易裁判所	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-1	0997-52-5141
名瀬検察審査会	894-0033	奄美市名瀬矢之脇町1-1	0997-52-5141
鹿児島家庭裁判所徳之島出張所	891-7101	徳之島町亀津554-2	0997-83-0019
徳之島簡易裁判所	891-7101	徳之島町亀津554-2	0997-83-0019
(環境省関係)			
奄美野生生物保護センター（九州地方環境事務所那覇自然環境事務所奄美自然保護官事務所）	894-3104	大和村思勝字腰ノ畑551	0997-55-8620
(防衛省関係)			
自衛隊鹿児島地方協力本部奄美大島駐在員事務所	894-0023	奄美市名瀬永田町17-3	0997-53-9103
〃 徳之島駐在員事務所	891-7101	徳之島町亀津北553-1	0997-83-3080
自衛隊喜界島通信所	891-6227	喜界町川嶺2913-1	0997-65-4306
海上自衛隊奄美基地分遣隊	894-1506	瀬戸内町古仁屋船津27	0997-72-0250
航空自衛隊奄美大島分屯基地	894-0505	奄美市笠利町平505-2	0997-63-0700
〃 第55警戒隊	891-9292	知名町上平川2081-1	0997-93-2169

(ウ) 市町村

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
奄 美 市	894-8555	奄美市名瀬幸町25-8	0997-52-1111
大 和 村	894-3192	大和村大和浜100	0997-57-2111
宇 検 村	894-3392	宇検村湯湾915	0997-67-2211
瀬 戸 内 町	894-1592	瀬戸内町古仁屋船津23	0997-72-1111
龍 郷 町	894-0192	龍郷町浦110	0997-62-3111
喜 界 町	891-6292	喜界町湾1746	0997-65-1111
徳 之 島 町	891-7101	徳之島町亀津7203	0997-82-1111
天 城 町	891-7692	天城町平土野2691-1	0997-85-3111
伊 仙 町	891-8293	伊仙町伊仙1842	0997-86-3111
和 泊 町	891-9192	和泊町和泊10	0997-92-1111
知 名 町	891-9295	知名町知名307	0997-93-3111
与 論 町	891-9301	与論町茶花32-1	0997-97-3111

1-7 大島支庁行政機構図

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成20年4月1日



1 - 8 奄美群島の歴代支庁長等

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成21年3月

就任年月日	退任年月日	任期	官職	氏名	備考
明治 12年 7月 1日	明治 15年 6月 28日	2年3ヵ月	郡長	中村兼志	
〃 15 9 28	〃 17 11 15	2年2ヵ月	〃	鳥丸一太	
〃 18 3 31	〃 18 10 -	7ヵ月	郡長、支庁長	宮里正勝	
〃 18 10 -	〃 19 12 -	1年2ヵ月	支庁長	新納忠三	
〃 20 4 -	〃 21 4 -	1年	島司	森岡真	
〃 21 4 -	〃 23 - -	約2年	〃	森長義	
〃 23 5 -	〃 27 9 -	4年4ヵ月	〃	大海原尚義	
〃 27 9 10	〃 31 8 29	4年	〃	笹森儀助	
〃 31 10 -	〃 37 11 25	6年2ヵ月	〃	福山宏	
〃 37 11 25	大正 1 8 31	7年10ヵ月	〃	富田嘉則	
大正 1 8 31	〃 6 5 14	4年9ヵ月	〃	森谷八千夫	
〃 6 5 14	〃 8 11 17	2年7ヵ月	〃	小野田祐介	
〃 8 11 17	〃 10 6 6	1年7ヵ月	〃	肝付勇吉	
〃 10 6 9	〃 13 12 13	3年6ヵ月	〃	津村伊三郎	
〃 13 12 13	〃 15 6 30	1年6ヵ月	〃	中島楽	
〃 15 7 -	昭和 2 10 21	1年4ヵ月	支庁長	中島楽	
昭和 2 10 21	〃 4 8 17	1年11ヵ月	〃	近藤利孝	
〃 4 8 17	〃 7 2 4	2年6ヵ月	〃	小林三郎	
〃 7 2 4	〃 11 7 24	4年5ヵ月	〃	田野辺登	
〃 11 7 24	〃 14 1 9	2年6ヵ月	〃	幸田一雄	
〃 14 1 19	〃 17 7 1	3年6ヵ月	〃	内田栄二	
〃 17 7 1	〃 20 1 20	2年6ヵ月	〃	谷村秀綱	
〃 20 1 20	〃 21 3 20	1年2ヵ月	〃	池田保吉	
〃 21 3 20	〃 21 10 3	7ヵ月	〃	豊島至	行政分離
〃 21 10 3	〃 22 9 20	11ヵ月	知事	豊島至	米国軍政府時代
〃 22 9 26	〃 25 9 27	3年	〃	中江実孝	〃
〃 25 9 27	〃 25 11 25	2ヵ月	〃	吉田嘉	〃
〃 25 11 25	〃 27 3 6	1年4ヵ月	〃	中江実孝	群島政府設置
〃 27 3 6	〃 27 3 31	1ヵ月	知事代理	大津鐵治	〃
〃 27 9 22	〃 28 12 25	1年3ヵ月	地方庁長	沖野友栄	琉球政府地方庁設置
〃 28 12 25	〃 32 5 1	3年5ヵ月	支庁長	上田太郎	日本復帰
〃 32 5 1	〃 35 7 1	3年2ヵ月	〃	古木隆雄	
〃 35 7 1	〃 38 5 20	2年10ヵ月	〃	前田勇次	
〃 38 5 20	〃 42 5 16	4年	〃	中島信夫	
〃 42 5 16	〃 45 9 1	3年3ヵ月	〃	有馬勝夫	
〃 45 9 1	〃 49 5 1	3年8ヵ月	〃	黒田清博	
〃 49 5 1	〃 53 5 1	4年	〃	米丸操	
〃 53 5 1	〃 55 5 1	2年	〃	當房徹郎	
〃 55 5 1	〃 58 4 27	3年	〃	日高一夫	
〃 58 4 28	〃 61 3 31	2年11ヵ月	〃	松山菊男	
〃 61 4 1	〃 63 3 31	2年	〃	山中正	
〃 63 4 1	平成 2 3 31	2年	〃	橋本幸雄	
平成 2 4 1	〃 5 3 31	3年	〃	入佐一俊	
〃 5 4 1	〃 7 3 31	2年	〃	中野敦嚴	
〃 7 4 1	〃 10 3 31	3年	〃	岩切哲朗	
〃 10 4 1	〃 12 3 31	2年	〃	牛ノ濱道久	
〃 12 4 1	〃 16 3 31	4年	〃	川島健勇	
〃 16 4 1	〃 18 3 31	2年	〃	上園淳	
〃 18 4 1	〃 20 3 31	2年	〃	中野実	
〃 20 4 1			〃	元山義和	

1 - 9 歴代選出代議士

資料：名瀬市選挙35年史，名瀬市誌，奄美大島史，
議会制度70年史，大奄美年鑑，
鹿児島県選挙管理委員会のあゆみ

選 出 順 列	選 出 年 次	所 属 党	職 業	出 身 地	氏 名
第 1 回	明 治23年 7月	同 志 会	県 属	奄 美 市	基 俊 良
2	" 25 2	独 立 俱 楽 部	内 務 属	龍 郷 町	大 島 信
3	" 27 3	"	衆 議 院 議 員	"	"
4	" 27 9	"	"	"	"
5	" 31 3	"	弁 護 士	奄 美 市	麓 純 義
6	" 31 8	"	戸 長	徳 之 島 町	林 元 俊
7	" 35 8	政 友 会	弁 護 士	薩 摩 川 内 市	岡 元 直 熊
8	" 36 3	大 同 俱 楽 部	公 務 員	徳 之 島 町	嶺 山 時 善
9	" 37 3	"	衆 議 院 議 員	"	"
10	" 41 5	政 友 会	戸 長	和 泊 町	坂 本 元 明
11	" 45 5	"	弁 護 士	奄 美 市	麓 純 義
12	大 正 4 3	無 所 属	実 業 家	霧 島 市	田 中 省 三
13	" 6 4	政 友 会	"	徳 之 島 町	林 為 良
14	" 9 5	"	弁 護 士	龍 郷 町	冊 苗 代
15	" 13 5	"	衆 議 院 議 員	"	"
補 欠	昭 和 2 7	民 政 党	弁 護 士	徳 之 島 町	久 留 義 郷
16	" 3 2	政 友 会	大 学 教 授	喜 界 町	英 義 彦
17	" 5 2	民 政 党	弁 護 士	徳 之 島 町	久 留 義 郷
18	" 7 2	政 友 会	"	龍 郷 町	金 井 正 夫
19	" 11 2	"	衆 議 院 議 員	"	"
20	" 12 4	民 政 党	公 務 員	天 城 町	小 林 三 郎
再 選 挙	" 15 2	政 友 会	衆 議 院 議 員	龍 郷 町	金 井 正 夫
21	" 17 4	社 会 大 衆 党	実 業 家	瀬 戸 内 町	山 元 亀 次 郎
		政 友 会	衆 議 院 議 員	龍 郷 町	金 井 正 夫
		日 本 政 治 会	弁 護 士	知 名 町	宗 前 清
奄美群島復帰に伴う 特 別 選 挙	" 29 2			当 選 者 な し	
再 選 挙	" 29 4	自 由 党	会 社 顧 問	宇 検 村	保 岡 武 久
27	" 30 2	日 本 民 主 党	団 体 顧 問	龍 郷 町	伊 東 隆 治
28	" 33 5	無 所 属	会 社 顧 問	宇 検 村	保 岡 武 久
29	" 35 11	自 由 民 主 党	"	"	"
30	" 38 11	無 所 属	団 体 顧 問	龍 郷 町	伊 東 隆 治
31	" 42 1	自 由 民 主 党	衆 議 院 議 員	"	"
補 欠	" 43 5	無 所 属	会 社 顧 問	宇 検 村	保 岡 武 久
32	" 44 12	"	団 体 顧 問	奄 美 市	豊 永 光
33	" 47 12	"	弁 護 士	宇 検 村	保 岡 興 治
34	" 51 12	自 由 民 主 党	"	"	"
35	" 54 10	"	"	"	"
36	" 55 6	"	"	"	"
37	" 58 12	"	"	"	"
38	" 61 7	"	"	"	"
39	平 成 2 2	無 所 属	医 療 法 人 理 事 長	徳 之 島 町	徳 田 虎 雄

選 出 順 列	選 出 年 次	所 属 党	職 業	出 身 地	氏 名
第 40 回	平 成 5年 7月	自 由 民 主 党	弁 護 士	宇 検 村	保 岡 興 治
〃	〃	〃	団 体 役 員	南 さ つ ま 市	宮 路 和 明
〃	〃	無 所 属	医 療 法 人 理 事 長	徳 之 島 町	徳 田 虎 雄
〃	〃	自 由 民 主 党	団 体 役 員	鹿 児 島 市	宮 崎 茂 一
41	平 成 8年10月	〃	会 社 役 員	〃	園 田 修 光
42	〃 12 6	政 党 自 由 連 合	特 定 医 療 法 人 理 事 長	徳 之 島 町	徳 田 虎 雄
43	〃 15 11	自 由 連 合	〃	〃	〃
44	〃 17 9	自 由 民 主 党	中 間 法 人 徳 州 会 理 事	〃	徳 田 毅

注) 奄美群島が属する選挙区の歴代選出代議士である。

1－10 奄美群島選出県議会議員

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成21年1月1日現在

氏 名	党 派	選 出 区	氏 名	党 派	選 出 区
与 力 雄	自由民主党	奄美市区	金 子 万寿夫	自由民主党	大島郡区
永 井 章 義	自由民主党	〃	禧 久 伸一郎	無 所 属	〃

1－11 市町村長・市町村議会議長等

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成21年2月1日現在

市町村名	区 分	市 町 村 長	市町村議会議長	副市町村長	会計管理者	教 育 長
奄 美 市		平 田 隆 義	伊 東 隆 吉	濱 田 龍太郎	田 畑 米 利	徳 永 昭 雄
大 和 村		永 田 武 光	今 村 秀 樹	永 野 豊	元 野 吉八郎	永 田 世 史
宇 検 村		國 馬 和 範	前 田 啓 一	森 山 馨	登 政 満	重 枝 和 洋
瀬 戸 内 町		房 克 臣	堯 文 俊	池 崎 輝 房	宮 原 省 吾	森 山 力 蔵
龍 郷 町		田 畑 茂 光	牧 野 勝 久	岡 江 純一郎	竹 元 順一郎	宏 洲 弘
喜 界 町		加 藤 啓 雄	中 島 智 一	(不 在)	(収入役)直島秀守	晴 永 清 道
徳 之 島 町		高 岡 秀 規	住 田 克 幸	(不 在)	正 田 武 仁	秋 武 喜一郎
天 城 町		大 久 幸 助	叶 福次郎	(不 在)	武 原 信 嘉	川 村 善 良
伊 仙 町		大久保 明	上 木 勲	中 野 幸 次	福 永 正 徳	時 任 武 男
和 泊 町		伊地知 実 利	前 田 力	脇 田 清一郎	池 下 満	逆瀬川 勝 久
知 名 町		平 安 正 盛	東 善一郎	朝 戸 武 勝	西 田 盛 起	大 山 修
与 論 町		南 政 吾	町 田 末 吉	(不 在)	佐 多 悦 郎	田 中 國 重

1-12 市町村長選挙結果（平成17年1月～平成20年12月執行）

資料：大島支庁総務企画課

区分 市町村名	執行年月日	候補者別得票数			有効投票 総数 (得票総数)	投票総数	投票人 総数	当日 有権者数	投票率
奄美市	18年4月23日	平田 隆義 14,961	叶 芳和 14,238		29,199	29,199	29,372	38,151	76.99
大和村	17年8月28日	永田 武光			無 投 票				
宇検村	19年1月14日	國馬 和範 885	元山 三郎 841		1,726	1,741	1,741	1,803	96.56
瀬戸内町	19年6月10日	岡田 弘通 3,684	房 克臣 4,079		7,763	7,893	7,893	8,683	90.90
龍郷町	17年10月16日	川畑 宏友 2,109	田畑 茂光 2,427		4,536	4,571	4,571	4,839	94.46
喜界町	20年9月28日	加藤 啓雄			無 投 票				
徳之島町	19年7月1日	新田 武広 3,914	森 五十次 115	高岡 秀規 4,431	8,460	8,545	8,545	9,660	88.46
天城町	18年12月3日	寿 洋一郎 2,468	大久 幸助 2,819		5,287	5,287	5,343	5,595	95.50
伊仙町	17年10月16日	大久保 明 3,094	樺山 資敏 2,877		5,971	6,027	6,027	6,311	95.50
和泊町	17年6月26日	盛 泰夫 1,882	伊地知 実利 3,357		5,239	5,287	5,287	5,773	91.58
知名町	17年12月4日	平安 正盛			無 投 票				
与論町	19年9月9日	南 政吾 2,624	竹下 トオル 1,458		4,082	4,117	4,117	4,571	90.07

1-13 地方公共団体の長及び議会議員の党派別人員調べ

資料：大島支庁総務企画課

期日：平成21年2月1日現在

（ア）市町村長

区分 市町村名	氏 名	通算就任回数	任 期 満 了 日	党 派 別
奄美市	平 田 隆 義	1	平成22. 4. 22	無 所 属
大和村	永 田 武 光	2	21. 9. 9	〃
宇検村	國 馬 和 範	1	23. 1. 24	〃
瀬戸内町	房 克 臣	1	23. 6. 24	〃
龍郷町	田 畑 茂 光	1	21. 11. 9	〃
喜界町	加 藤 啓 雄	3	24. 10. 4	〃
徳之島町	高 岡 秀 規	1	23. 7. 24	〃
天城町	大 久 幸 助	1	22. 12. 26	〃
伊仙町	大久保 明	2	21. 10. 30	〃
和泊町	伊地知 実 利	1	21. 7. 13	〃
知名町	平 安 正 盛	3	21. 12. 20	〃
与論町	南 政 吾	3	23. 9. 24	〃

(イ) 市町村議会議員一覧

期日：平成20年12月10日現在

市町村名	定数	現員	党 派 別						欠員
			自由民主党	民 主 党	社会民主党	共 産 党	公 明 党	無 所 属	
奄 美 市	26	26	—	1	1	2	3	19	0
大 和 村	8	8	—	—	—	—	—	8	0
宇 検 村	8	8	—	—	—	—	—	8	0
瀬 戸 内 町	10	10	—	—	—	—	—	10	0
龍 郷 町	12	12	—	—	—	—	—	12	0
喜 界 町	14	14	—	—	—	—	1	13	0
徳 之 島 町	16	16	1	—	—	—	—	15	0
天 城 町	14	14	—	—	—	—	—	14	0
伊 仙 町	14	14	—	—	—	—	—	14	0
和 泊 町	14	14	—	—	—	—	—	14	0
知 名 町	14	14	—	—	—	—	1	13	0
与 論 町	12	12	—	—	—	1	—	11	0
計	162	162	1	1	1	3	5	151	0

(注) 党派は所属議員がいるもののみ掲載。

1-14 一部事務組合の設置状況及び業務内容

資料：市町村課

期日：平成21年1月1日現在

(ア) 設置状況

名 称	設 置 年 月 日	所 在 地	管 理 者	電 話 番 号
沖永良部バス企業団	昭和30年9月5日	知名町知名463番地	和泊町長 伊地知 実利	0997-93-2054
奄美自治会館管理組合	昭和35年4月16日	奄美市名瀬永田町17番1号 (奄美自治会館内)	大和村長 永田 武光	0997-52-1047
大島地区衛生組合	昭和48年8月17日	奄美市名瀬大字有屋字井野 1594番1号	奄美市長 平田 隆義	0997-52-9766
沖永良部衛生管理組合	昭和51年4月1日	和泊町瀬名字東山1144	知名町長 平安 正盛	0997-92-2042
沖永良部与論地区 広域事務組合	昭和58年2月3日	知名町余多1319番地	和泊町長 伊地知 実利	0997-93-0119
徳之島地区消防組合	昭和59年3月1日	徳之島町亀津7203番地	天城町長 大久 幸助	0997-83-3160
大島地区消防組合	平成元年4月1日	奄美市名瀬小浜町27番5号	奄美市長 平田 隆義	0997-52-0100
奄美群島広域事務組合	平成3年7月1日	奄美市名瀬永田町17番1号 (奄美自治会館内)	〃 〃	0997-52-6032
奄美大島地区 介護保険一部事務組合	平成11年6月1日	奄美市名瀬幸町20-6	〃 〃	0997-52-4900
徳之島地区 介護保険組合	平成11年5月19日	徳之島町亀津2928-4	徳之島町長 高岡 秀規	0997-81-1221
大島農業共済事務組合	平成11年2月8日	奄美市笠利町中金久162-2	奄美市長 平田 隆義	0997-63-2442

(イ) 業務内容

名 称	業 務 内 容	名 称	業 務 内 容
沖 永 良 部 バ ス 企 業 団	・ 一般乗合(貸切)旅客自動車運送事業	大島地区消防組合	・ 常備消防 ・ 救急業務
奄 美 自 治 会 館 管 理 組 合	・ 自治会館の運営	奄 美 群 島 広 域 事 務 組 合	・ 広域計画の策定、実施及び連絡調整 ・ 場外離着陸場の建設及び維持管理 ・ 視聴覚ライブラリーの設置及び管理 ・ ふるさと市町村圏計画の策定、実施及び連絡調整
大島地区衛生組合	・ ごみ処理施設の設置及び維持管理 ・ し尿処理施設の設置及び維持管理		
沖 永 良 部 衛 生 管 理 組 合	・ 火葬場 ・ と畜場 ・ ごみ処理	奄美大島地区介護 保険一部事務組合	・ 介護保険の要介護認定に係る事務
沖永良部与論地区 広 域 事 務 組 合	・ 常備消防 ・ 救急業務 ・ 介護保険の要介護認定に係る事務 ・ 障害者自立支援の障害程度区分認定に係る事務	徳 之 島 地 区 介 護 保 険 組 合	・ 介護保険の要介護認定に係る事務 ・ 障害者自立支援の障害程度区分認定に係る事務
徳 之 島 地 区 消 防 組 合	・ 常備消防 ・ 救急業務	大 島 農 業 共 済 事 務 組 合	・ 農業共済事業

1-15 奄美群島の市町村合併の概況

本県の市町村合併については、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号。以下「旧法」という。）下で18地区65市町村が合併し、市町村の合併の特例等に関する法律（平成16年法律第59号。以下「新法」という。）下においても、3地区7市町が合併し、市町村数は96から半分以上の45市町村になったところであり、市町村合併は全体として着実に進展し、一定程度、基礎自治体の規模拡大が図られてきている奄美群島内においては、旧法の下、奄美大島地区、徳之島地区及び沖永良部地区の3地区において、それぞれ合併に向けた協議が行われた。その結果、奄美大島地区において平成18年3月20日に名瀬市、住用村及び笠利町が合併し、「奄美市」が誕生したところであるが、その他の地区においては、様々な事情から旧法下での合併には至らなかった。

県としては、新法の下においても、さらなる市町村合併を推進するため7地区18市町の具体的な合併の組合せを含む「鹿児島県市町村合併推進構想」を策定し、奄美群島内については、徳之島地区、沖永良部地区について1島1自治体の実現を目指すことが望ましいとの考えからこの2地区を構想対象市町村としているところである。

1-16 広域連合の設置状況及び業務内容

平成21年1月1日現在

名 称	設置年月日	所在地・電話番号	連 合 長
徳之島愛ランド広域連合	平成13年3月8日	伊仙町目手久1395番地 0997-81-7855	伊仙町長 大久保 明

業 務 内 容
(1) ごみ焼却施設、リサイクルプラザ及び管理型最終処分場の設置並びに管理運営に関すること (2) 火葬場施設の設置及び管理運営に関する事務 (3) と畜場施設の設置及び管理運営に関する事務 (4) 次に掲げる事務の広域処理の在り方についての調査研究に関すること ・消防（消防団事務を除く）及び救急に関する事務 ・介護保険の介護認定審査判定業務に関する事務

1 - 17 市町村大字名一覧

資料：大島支庁総務企画課
期日：平成20年12月31日

市町村名	大字数	大 字 名
奄 美 市	80	(名瀬) ながはまちょう しおはまちょう やのわきちょう いりふねちょう かねくちょう やなぎまち さいわいちょう いねちょう すえひろちょう ながたちょう 長 浜 町・塩 浜 町・矢之脇町・入 舟 町・金久町・柳 町・幸 町・井根町・末 広 町・永田町・ みなとまち いつぶちょう こはまちょう さだいくまちょう いしばしちょう あんがちちょう くさとちょう ふるたちょう こまたちょう かすがちょう 港 町・伊津部町・小浜町・佐大熊町・石 橋 町・安 勝 町・久里町・古田町・小俣町・春日町・ まなつちょう ひらたちょう はとばまちょう はまさとちょう ひらまつちょう あさひちょう わこうちょう うらがみちょう ありやちょう なががちちょう 真名津町・平田町・鳩 浜 町・浜 里 町・平 松 町・朝日町・和光町・浦 上 町・有屋町・仲 勝 町・ あしけぶ ありら だいくま うらがみ ありや なががち ね せ ぶ ち な せ こしゆく あさに あさにしんまち あさにちちょう 芦花部・有良・大熊・浦上・有屋・仲勝・根瀬部・知名瀬・小宿・朝仁・朝仁新町・朝仁町・ さきばる こみなと な ぜ が ち にしなががち あさと い つ ぶ が ち かねく い つ ぶ 崎原・小湊・名瀬勝・西仲勝・朝戸・伊津部勝・金久・伊津部 (住用町) いち やんま やくがち いしはら にしなかも かみや みざと ひがしなかも かわうち すりがち ぐすく わ せ 市・山間・役勝・石原・西仲間・神屋・見里・東仲間・川内・摺勝・城・和瀬 (笠利町) さと ながかねく そとがねく かわかみ や に さ に よう かさり べる す の うしゆく まんや わ の せった 里・中金久・外金久・川上・屋仁・佐仁・用・笠利・辺留・須野・宇宿・万屋・和野・節田・ たいら ようあん き せ て け ぶ 平・用安・喜瀬・手花部
大 和 村	11	くになお ゆわんがま つ な ぐ おんがち やまとはま おおだな おおがねく とえん なおん し ど かん いまざと 国直・湯湾釜・津名久・思勝・大和浜・大 棚 ・大金久・戸 戸 ・名 音 ・志 戸 勘 ・今 里
宇 検 村	13	うけん く し いけがち あしけん たけん ゆわん す こ ぶれん ながら さねん へ だ あむろ やどん 宇検・久志・生勝・芦検・田検・湯湾・須古・部連・名柄・佐念・平田・阿室・屋鈍
瀬戸内町	49	にしこみ くだん けてん く じ こ し しのかわ あむろがま さねく しば きつかわ せだけ き じ たけな みうら 西古見・管鈍・花天・久慈・古志・篠川・阿室釜・実久・芝・薩川・瀬武・木慈・武名・三浦・ ひよう せそう にしあむろ かにゆう す こ も あ だ ち おしかく かりゆき しよどん しよかず いけんま どれん あきとく 俵・瀬相・西阿室・嘉入・須子茂・阿多地・押角・勝能・諸鈍・諸数・生間・渡連・秋徳・ のりやま い こ も けどみ おさい いけじ うけあむろ よろ こ に や こ な せ あでつ ゆ い く ね つ 野見山・伊子茂・花富・於齊・池地・請阿室・与路・古仁屋・小名瀬・阿鉄・油井・久根津・ てあん せいすい い す あ ぎ な ちちうら そかる あみのこ せつこ かとく かてつ 手安・清水・伊須・阿木名・勝浦・蘇刈・網野子・節子・嘉徳・嘉鉄
龍 郷 町	15	あきな いくさと か ど えん あん きや ば たつごう く ぼ せどめ うら やにゅう おおがち なががち とぐち あかおぎ 秋名・幾里・嘉渡・円・安木屋場・龍郷・久場・瀬留・浦・屋入・大勝・中勝・戸口・赤尾木・ あしとく 芦徳
喜 界 町	31	わん あかれん なかざと あらき て く づ く かみかてつ うらはら かわみね やまだ はざと ぐすく たきがわ しまなか いけじ 湾・赤連・中里・荒木・手久津久・上嘉鉄・浦原・川嶺・山田・羽里・城久・滝川・島中・池治・ おおあさと にしめ なかま なかぐま さかみね いさご け ら じ あでん かどん しらみず そうまち しおみち いさねく 大朝戸・西目・中間・中熊・坂嶺・伊砂・花良治・阿伝・嘉鈍・白水・早町・塩道・伊実久・ ながみね しとおけ き で く お の 長嶺・志戸桶・佐手久・小野津
徳之島町	15	しもくし いのかわ かみのみね しよだ とくわせ かめとく かめつ お も しらい ぼ ま けどく とどろき さん 下久志・井之川・神之嶺・諸田・徳和瀬・亀徳・亀津・尾母・白井・母間・花徳・轟木・山・ かなみ て 金見・手々
天 城 町	11	にし あぎ な どうべ せたき おおつかわ かねく あまぎ へ と の あさま おかぜん まつばら よ な ま 西阿木名・当部・瀬滝・大津川・兼久・天城・平土野・浅間・岡前・松原・与名間
伊 仙 町	17	きねん さべん め て ぐ おもなわ けんぶく ふるさと いせん あさん あごん やえぞう ば ね なかやま いぬたぶ 喜念・佐弁・目手久・面縄・検福・古里・伊仙・阿三・阿権・八重竿・馬根・中山・犬田布・ さきばる き の こ いと き な こじ 崎原・木之香・糸木名・小島
和 泊 町	21	わどまり わ て で ち な うえてでちな き び る で ぎ いのべ あぜふ くにがみ にしばる ねおり たまじろ おおじろ 和泊・和・手々知名・上手々知名・喜美留・出花・伊延・畦布・国頭・西原・根折・玉城・大城・ みなかわ ふるさと うちじろ せ な ながみね に し たにやま ごらん 皆川・古里・内城・瀬名・永嶺・仁志・谷山・後蘭
知 名 町	21	ち な や こ も おおつかん とくどき すみよし まさな たみ な しもじろ かみしろ しんじょう ぐ し けん あかみね さおづ 知名・屋子母・大津勘・徳時・住吉・正名・田皆・下城・上城・新 城 ・久志検・赤嶺・竿津・ あまた かみひらかわ しもひらかわ やじや あしきよら くらぬき せり かく こごめ 余多・上平川・下平川・屋者・芦清良・黒貫・瀬利寛・小米
与 論 町	6	ちやばな りつちょう むぎや あさと ふるさと な ま 茶花・立 長 ・麦屋・朝戸・古里・那間
計	290	